

前夜の星空、實に美しかりきと語るに、同行の二人當地にて未だ夜空を見ることなかりければ、

「然らば今宵見に行かん。」

とて三人にてホテル近くの丘に行かんとす。

されど、小生若干風邪氣味なれば、翌日の倍音聲明への悪影響を懼れ参加見合はせり。

二人は徒歩にて近くの丘に登れり。丘の上にて夜空を眺めし處、直線状に動く光在り。其の光、突然鋭角に曲るを見たりと言ふ。飛行機なれば斯様に鋭角に曲る事を得ざれば、兩人とも不思議を感じたるも、UFOとは思はず。

余、是を聞きて直ちに直感を以てUFOと断定せり。何故兩人UFOと思はざるや疑問なり。

小學生の頃よりUFO見んと欲すれど是を得ず。兩人に同行せざりし事、實に残念なり。

印度北部、ヒマラヤ地方にては、斯かる現象左程珍しくも有らざる事とぞ聞きぬる。N師、ゴームクにて修業時、一再ならず斯る現象を目撃せられしとの事なり。